

令和3年5月10日	
資料提供	
担当課	有田振興局農林水産振興部 農業水産振興課
担当者	普及グループ 萩平
電話(直通)	0737-64-1273

令和3年産有田地方かんきつ類の着花状況調査結果

調査者：JAありだ、JAグループ和歌山農業振興センター、
農業共済組合、近畿農政局和歌山支局
県 果樹園芸課、果樹試験場、有田振興局

調査日：令和3年4月28日(水)

令和3年産かんきつ類の着花状況は、総体的に平年より少ない。園地や樹によるバラツキが大きい。

満開期は、全体的に平年より早くなる見込み。気温が3月までが高温、4月が低温で推移した影響もあり、平坦部と山間部の差が大きくなっている。

各品目別の詳細は以下のとおり。

(1)温州みかん (118園調査)

①新梢の発生や着葉数は平年並。樹勢は中程度であったが弱っている園も見受けられる。

[平年に比べ、発芽期は11日程度、展葉期は5日程度早かった。(早生品種、果樹試験場調べ)]

②満開期は極早生で5月4日頃(平年より5日早い)、早生で5月4日頃(平年より6日早い)、普通で5月6日頃(平年より6日早い)と思われる。

③着花指数は平年を10とした場合、極早生で9.6、早生で7.8、普通で8.0であった。

(2)はっさく (10園調査)

①新梢の発生や着葉数は平年並み、樹勢は中程度であった。

②満開期は5月6日頃(平年比7日早い)と思われる。

③着花指数は平年を10とした場合、9.4であった。

(3)清見 (9園調査)

①新梢の発生は良好で、着葉数は平年並み、樹勢は中程度であった。

②満開期は5月7日頃(平年比6日早い)と思われる。

③着花指数は平年を10とした場合、7.8であった。

(4)不知火 (13園調査)

①新梢の発生は良好で、着葉数もやや多く、樹勢は中程度であった。

②満開期は5月7日頃(平年比5日早い)と思われる。

③着花指数は平年を10とした場合、9.7であった。